

ホテイシダ*Lepisorus annuifrons*
(Makino) Chingウラボシ科
Polypodiaceae**カテゴリー**大分県 IB
環境庁 掲載なし**選定理由** 温帯性のシダ植物で主に夏緑樹林帯に生育し、九州での分布は山地に限られる。本県では森林伐採、台風による倒木被害、生育環境の悪化などで個体数が激減しており、絶滅の危険性が高まっている。**県内分布** 九重火山群**分布域** 北海道,本州,四国,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島**生育環境** 山地林内の樹幹に着生。**現 状** 「九重火山群」のブナ林内にわずかな個体の生育が確認できる程度である。**ツクシノキシノブ***Lepisorus tosaensis* (Makino) H.Itoウラボシ科
Polypodiaceae**カテゴリー**大分県 II
環境庁 掲載なし**選定理由** 暖地性のシダ植物で、本州の一部と九州に分布するが、分布量は少ない。本県での分布は希で、森林伐採や林道工事、風水害などによる生育環境の悪化により、生育地の減少や消滅が懸念される。**県内分布** 耶馬溪地区、日田低地・丘陵地、津江山地、豊後水道後背地域、北川上流域**分布域** 本州(静岡・紀伊半島),四国,九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
中国南部,台湾**生育環境** 低地や丘陵地の溪流沿いの林内の樹幹や岩上に着生。**現 状** 「耶馬溪地区」と「北川上流域」の生育地は個体数も比較的多い。その他の生育地では、ごく狭い範囲にわずかな個体が生育しているだけである。**クラガリシダ***Dryotaenium miyoshianum*
(Makino) Makinoウラボシ科
Polypodiaceae**カテゴリー**大分県 情報不足
環境庁 IB**選定理由****県内分布** (耶馬溪地区)**分布域** 本州(能登半島・中部地方以西),四国(愛媛・高知),九州(大分)
台湾,中国中部～南西部**生育環境** 丘陵地の林内樹幹に着生。**現 状** 九州では1962年から「耶馬溪地区」だけで生育が確認されていたが、近年その生育状態は把握できていない。